

能は歌舞(謡と舞)を中心に構成された演劇です。シテ(主人公)は神、武将の霊、草木の精、鬼など様々で、
節(メロディ)を付けた「謡」を謡い、哀しいや嬉しいといった感情表現の場面では「舞」を舞います。

狂言は中世の口語による会話劇です。おっちょこちょいな人や偉ぶった人が現れ、
現代の私たちが見ても笑ってしまうような風刺劇がたくさんあります。

狂言「^{よび こえ}呼声」

無断欠勤を続ける太郎冠者。主人が叱りに太郎冠者の家を訪ねますが、居留守を使うため、呼び出そうと主人と次郎冠者は「平家節」「小歌節」「踊り節」など中世の流行歌を次々に歌います。まんまと乗せられ太郎冠者も「留守」と応えつつも踊ってしまいます。居留守はバレてしまいますが、お互いが節に乗りすぎ夢中になって踊り出す楽しいお話です。

能「^{すみ だ がわ}隅田川」



「隅田川」

©公益社団法人能楽協会

母と子の深い情愛と、この世の無常を描いた感動的な作品です。物語は、京の都に住む一人の女性が、人買いによって連れ去られた最愛の一人息子を探す旅から始まります。母は必死の思いで東国へと向かい、長い道のりを経て、ようやく武蔵国の隅田川のほとりにたどり着きます。そこには一人の船頭がいて、母が川を渡りたいと願うと、船頭は「この川辺では、ちょうど一年前に亡くなった少年を弔う法要が行われる」と語ります。不思議に思った母がその少年のことを尋ねるうちに、その子こそが、母が長い間探し求めてきたわが子であることが明らかになります。母は悲しみに打ちひしがれ、わが子の名を呼びながら泣き崩れます。やがて夜の月光のもとに亡き子の霊が現れ、母はその姿にすがろうとしますが、霊は静かに消え去ってしまいます。母は深い嘆きの中に沈み、舞台は無常の余韻を残して終わります。

第20回 高校生のための能楽鑑賞会

◆狂言「^{よび こえ}呼声」 シテ(太郎冠者) 善竹 隆平

◆能「^{すみ だ がわ}隅田川」 シテ(梅若丸の母) 山本 博通

令和8年3月26日(木) 14時開演(13時半開場) ※16時半終演予定

参加無料

会場
大槻能楽堂

但し、申込みが必要となります

【対象】高校生および引率教員(教員のみでは参加は出来ません)

【定員】220名先着順

【申込方法】右下のQRコードを読み取りいただきお申込みください
後日メールにてご連絡申し上げます

※QRコードが読み取れない方は下記【お問い合わせ先】までお知らせください

●氏名 ●学校名 ●連絡先(メール) を明記の上、お申込みください

学校単位でのお申し込みは

●学校名 ●教員名 ●参加人数 ●連絡先(メール) を明記ください

参加お申込みは
こちらから



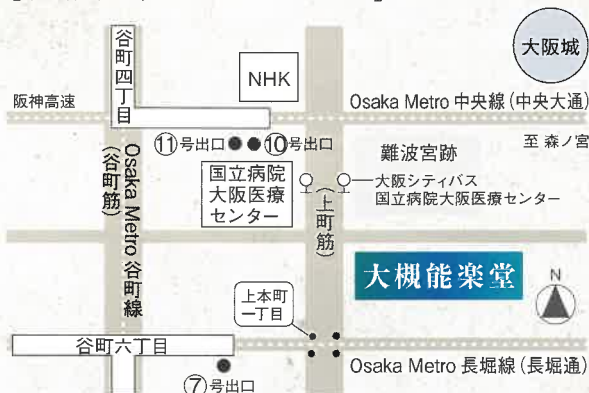
【申込受付期間】

令和8年2月24日(火)～3月20日(金)

【お問い合わせ先】

koukousei.nougaku@gmail.com

【大槻能楽堂へのアクセス】



- Osaka Metro谷町線・中央線「谷町四丁目」駅下車、
⑩号出口を出て南へ約300m。(⑪号出口にエレベーターあり)
またはOsaka Metro谷町線・長堀鶴見緑地線「谷町六丁目」駅下車、
⑦号出口を出て北へ約350m。(⑦号出口にエレベーターあり)
- 大阪シティバス「国立病院大阪医療センター」バス停下車、南へすぐ
*「大阪駅前」から62号系統「住吉車庫前」行き乗車
*「あべの橋」から62号系統「大阪駅前」行き乗車

◆◆◆ 申込みいただきました方には「入場証」をお送りしますので、パソコンからのメール受信可能な環境でお待ちください ◆◆◆

本公演における写真撮影・テープ録音・携帯電話等にての撮影・録音は著作権・肖像権に触れますのでご遠慮いただきますようお願いいたします